

# 苫小牧国際コンテナターミナルの安全運航のための申合せ事項

平成 2 0 年 7 月

## 1 目的

苫小牧国際コンテナターミナルに入出港する船舶及び岸壁を利用する船舶の安全運航のため、同ターミナル利用者間等において、安全運航のための申合わせ事項を定めたので、同ターミナルに着離岸する船舶は、各事項を遵守し、安全、且つ効率的に運用するものとする。

## 2 入出港船舶の喫水及び船型

当該岸壁の最大対象船型は、次のとおりとする。

施設名	長さ(L.O.A /m)	喫水	備考
東港区 中央ふ頭3号岸壁	220	12.6	余裕水深は海図水深の10%を確保すること

## 3 気象・海象条件

### (1) 風速

イ 喫水9m未満の船舶

平均風速 入出港時 12m/s以下

ロ 喫水9m以上の船舶

平均風速 入港時 10m/s以下

出港時 12m/s以下

### (2) 波高

港外 2m以下

泊地 0.7m以下

### (3) 視程

イ 300m未満 入出港 中止

ロ 300m以上500m未満 船長、水先人等協議のうえ警戒船を配備して入出港できる。

## 4 航行支援体制(タグボートの配備)

(1) タグボートの配備については、以下のとおりとするのが望ましい。

イ 総トン数2,000トン以上6,000トン未満 1隻以上

ロ 総トン数6,000トン以上 2隻以上

(2) スラスター装備船については、スラスターの能力、気象・海象を勘案し、適宜配備数を増減すること。

(3) 深喫水船で回頭を伴う場合、または強風等の気象状況によっては、適宜配備数を増加して安全を確保すること。

(4) タグボートの手配に関しては、東港に常駐していない場合もあり、到着までに時間を要することもあるので、気象状況等によっては早めに手配等を行うこと。

#### 5 水先人の要請

出来る限り水先人を要請することを推奨する。

#### 6 避難

気象条件の悪化若しくは災害の発生が予想される場合の離岸・避難の目安は以下のとおりとする。

平均風速 15 m/s 以上に達すると予想される場合は船長の判断により早期に避難または、係留強化を行うこと。

台風の来襲が予想されるとき、及び、津波警報が発令された場合は、直に安全な海域への避難又は船体の損傷防止、乗組員の避難等の措置を取ること。

その他、船長が、係留の継続を困難または危険と判断する事由がある場合は、上記に順じた対策を取ること。

#### 7 見直し

本申合せ事項は、運航実態及び実績を検証するとともに、船舶交通量の変化を考慮し、順次関係者間の協議等により見直しを行い、安全、且つ、効率的な運用を図るものとする。

本申合わせ事項は、苫小牧国際コンテナターミナルの船舶の安全運航のため、以下の利用者等の団体及び関係官公庁により討議し策定した。

討議機関等

苫小牧港管理組合

苫小牧港エージェント会

苫小牧船主協会

苫小牧外貿コンテナ事業共同組合

苫小牧タグセンター

苫小牧水先区水先人会

苫小牧海上保安署

北海道運輸局室蘭運輸支局苫小牧海事事務所

北海道開発局室蘭開発建設部苫小牧港湾事務所

平成20年7月28日